

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム暖楽家

## 目標達成計画

作成日: 令和2年 2月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との交流は限られた一部の団体等の為、事業所周圍には今だに認知度が低いと思われる。	事業所は新興住宅地にあり周辺住民とも関わりを持って存在感ある事業所になる必要がある。	町内会を通し地域行事等に積極的に参加し地域との関わりを深める。	12ヶ月
2	35	様々な災害が発生した時に備え近隣との協力体制の構築に不完全なところがある。	如何なる災害が発生した時にでも対応できる協力体制を事業所周圍の近隣住民と築く。	事業所として日常生活のなかでの近隣との関わりと理解を深めてもらう為先ずAEDの設置事業所であることを訴え近隣に関心を持って頂く。	12ヶ月
3	49	利用者の重度化が進行し、個別支援・外出支援の機会が乏しい状況にある。	近隣の公園、喫茶店など日課とし継続して外出支援をしていく。利用者の状態や意向に合わせ、無理のない範囲で継続できる外出支援等の企画、実現を図る。	天気の良い日は、近隣・神社散歩。利用者の状態に合わせ玄関前や外の空気に触れて頂く機会を増やす。年間行事も大切だが、気軽に出掛けれる外食、買い物、喫茶、ドライブなどの気分転換できる支援を増やし個別ケアに柔軟に対応できるチーム力を身に付ける。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。